



2019年11月29日

各位

会社名 岡野バルブ製造株式会社
 代表者名 代表取締役社長 岡野正紀
 (コード番号 6492 東証第2部、福岡)
 問合せ先 取締役総務部長 木村浩一
 (TEL 093 - 372 - 9215)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2019年6月19日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2019年11月期通期連結業績予想数値の修正(2018年12月1日~2019年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,250	80	125	90	51.93
今回修正予想(B)	6,660	-	-	-	-
増減額(B-A)	1,590	-	-	-	
増減率(%)	19.3	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2018年11月期)	7,577	67	0	165	95.09

2019年11月期通期個別業績予想数値の修正(2018年12月1日~2019年11月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,200	110	145	100	57.70
今回修正予想(B)	6,600	-	-	-	-
増減額(B-A)	1,600	-	-	-	
増減率(%)	19.5	-	-	-	
(ご参考)前期実績 (2018年11月期)	7,525	30	90	281	162.15

2. 修正の理由

発電プラント用バルブの製造販売およびメンテナンスを主要事業とする当社グループにおきましては、主に原子力関連において受注済案件の売上計上時期が流動的であり、正確な業績予想数値の管理が困難な状況にあります。

このような状況の下、当第3四半期末時点の業績と開示済の業績予想数値に大幅な乖離が生じておりましたが、大型の売上案件が第4四半期に偏重していたことから、乖離は解消できるものと見込んでおりました。しかしながら第4四半期に入り、バルブ事業におきまして島根原子力発電所2号機および柏崎刈羽原子力発電所向けの売上等が次期に繰延べとなりました。またメンテナンス事業におきましても、大型案件である柏崎刈羽原子力発電所6号機向け震災対策工事の進捗が遅れるなど、バルブ事業、メンテナンス事業の減収要因が重なったことにより、全体の売上高は当初の予想を大幅に下回る見込みとなりました。

これらのことから、連結、個別ともに2019年6月19日に公表した通期の売上高予想数値を見直しましたので、上記のとおり修正いたします。

損益面につきましては、東日本大震災に伴う売掛滞留債権に対して損失処理を計上する見込みとなり、税務上の調整等が生じております。従いまして、現時点では見込み額が開示できない状況のため、見込み額が算定された時点で速やかに開示いたします。

なお、業績予想の修正による期末配当予想の修正はございません。

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上